日本都市学会 第73回大会

水辺空間と都市再生

開 催 日　2026年10月23日（金）～10月25日（日）

会　　場　徳島大学常三島キャンパス

主　　催　日本都市学会、中四国都市学会

後　　援　徳島市、徳島県、国土交通省四国地方整備局、徳島地理学会

日本都市学会 第 73 回大会テーマ

水辺空間と都市再生

日本都市学会会長　　山崎 健
中四国都市学会会長　豊田 哲也

都市は古来より河川や海と深く関わりながら形成されてきた。水辺は交通や物流を支える基盤であるとともに、人々の暮らしや産業活動を支え、景観や文化を育む空間として重要な役割を果たしてきた。しかし近代以降、都市化や産業化の進展に伴い、多くの都市では治水や運輸機能が優先され、水辺は市民の日常生活から次第に遠ざけられていった。河川や港湾は管理の対象として囲い込まれ、人々と水辺との関係は希薄化したのである。

一方、水辺空間の活用は都市研究や都市政策において旧くて新しいテーマである。欧米では港湾や運河の再開発を通じたウォーターフロント開発が進められ、日本においても 1980 年代以降、水辺を活かした都市開発や都市観光の取り組みが各地で展開されてきた。しかし、人口減少や少子高齢化が進む今日、公共空間の利活用、地域コミュニティ、市民参加、持続可能性といった観点から水辺空間を捉え直す必要性が高まっている。国土交通省の「かわまちづくり」に代表されるように、水辺を地域の魅力や活力を創出する資源として位置づけ、都市空間と一体的に活用する取り組みが全国で進められている。

しかし、水辺空間の活用は単なる景観整備や観光振興にとどまるものではない。そこには公共空間を誰がどのように維持・利用し、将来へ継承していくのかという都市の根源的な課題が含まれている。行政、企業、市民、NPO など多様な主体の連携はどのように可能なのか。歴史的環境の保全と新たな都市機能の導入をいかに両立させるのか。また、水辺は都市に豊かな環境をもたらす一方で、洪水や高潮、津波などの災害リスクとも隣り合わせの空間である。水辺の価値を活かしながら、安全性にも配慮した持続可能な都市をどのように形成していくのかも重要な課題となっている。

徳島市は 16 世紀末に吉野川下流のデルタ地帯に築かれた城下町を起源とし、現在も大小百余の河川が市街地を流れている。その水系は都市の歴史と空間構造を今日に伝えている。近年は「川とともに暮らす水都とくしま」を掲げた親水空間整備に加え、新町川を舞台とする市民主体のまちづくり活動、万代中央地区における倉庫群の利活用や新町西地区の再開発など、水辺空間を活かした都市再生の取り組みが進められている。徳島は、水辺と都市との関係を考えるうえで示唆に富む都市である。

水辺は都市にどのような公共性をもたらすのだろうか。人々は水辺を通じてどのように都市と関わり、豊かな都市生活を形成していくのだろうか。本大会では、「水都とくしま」を開催地として、水辺空間と都市再生をめぐる諸課題について議論したい。河川や港湾を活かしたまちづくり、中心市街地活性化、景観形成、防災、観光、地域コミュニティの再生など、多様な視点から事例と研究成果を共有し、水辺と共生する持続可能な都市のあり方を展望する。水辺空間を、都市の歴史・文化・経済・社会を結びつける基盤として捉え直し、これからの都市再生の方向性を考える機会としたい。

キーワード：かわまちづくり、親水空間、中心市街地活性化、再開発事業、市民参加、官民連携

日本都市学会 第73回大会開催概要

開 催 日　2026年10月23日（金）～10月25日（日）
　　金曜日：エクスカーション（午後）・理事会（夕方）
　　土曜日：研究発表（午前）・シンポジウム（午後）
　　日曜日：研究発表（午前）
主　　催　日本都市学会、中四国都市学会
後　　援　徳島市、徳島県、国土交通省四国地方整備局、徳島地理学会
開 催 地　徳島県徳島市
会　　場　徳島大学常三島キャンパス（徳島市南常三島町1丁目）
　　学内駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。
アクセス　JR徳島駅から路線バス（徳島市営バス。徳島バス）で約5分、または徒歩約20分
　　JR新神戸・三宮駅・神戸空港から徳島大学前まで高速バスで約2時間
　　ほか京都、大阪、岡山、広島、高松、松山、高知の各都市から高速バスあり
　　徳島阿波おどり空港から徳島大学前までリムジンバスで約25分
　　東京（JAL6便・ANA3便）・福岡（JAL2便）からの到着時刻に合わせて発車
参 加 費　大会参加費　1,000円
　　エクスカーション参加費　1,000円
　　公開シンポジウムはどなたも無料で参加できます。

※本大会ではなるべく簡素でコンパクトな運営を心がけています。参加者のみなさまにはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

10月23日（金）

13:00～17:00　エクスカーション
　徳島市中心市街地の水辺空間と都市再生の現場を徒歩とクルーズで巡ります。
　集合時間　13:00
　集合場所　徳島駅前再開発ビル　アミコビル4階　シビックセンター活動室（3）
　　https://www.civic-center.jp/rent/
　案内者　畠山輝雄（鳴門教育大学）、池添純子（鳴門教育大学）ほか
　コース　徳島市・徳島県の政策担当者による概要説明－藍場浜公園－新町西地区再開発事業－
　　新町川を守る会「ひょうたん島クルーズ」－万代中央ふ頭アクア・チッタ
　参加費　1,000円（クルーズ乗船料、資料代等を含む）
　募集人数　30名程度（申し込み順）

18:00～20:00　理事会
　会場　エクスカーション集合場所と同じ

10月24日（土）

9:20～11:50　研究発表Ⅰ
　会　場　徳島大学　総合科学部1号館302講義室ほか

13:00～16:30　公開シンポジウム「水辺空間と都市再生」
　主　催　日本都市学会、中四国都市学会、徳島大学
　後　援　徳島市、徳島県、国土交通省四国地方整備局、徳島地理学会
　会　場　徳島大学常三島キャンパス　地域連携プラザ2階　常三島けやきホール

令和8年度徳島大学地域交流シンポジウム（第23回）「水都とくしまの未来を考える－水辺空間と都市再生－」と共催で実施します。動画の配信を希望される方は下記からお申し込み下さい。
https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/74349.html

タイムテーブル

13:00～14:30　第1部　基調講演
　司会　金西計英（徳島大学人と地域共創センター長）

13:00～13:20　主催者挨拶と趣旨説明
　山崎 健（日本都市学会 会長）、藤本真路（徳島大学 副学長）、豊田哲也（中四国都市学会会長）
13:20～13:55　基調講演（1）
　久 隆浩（近畿都市学会 会長）「都市と水辺空間の関係－過去・現在・未来」
13:55～14:30　基調講演（2）
　瀬尾 守（徳島市 副市長）「水都とくしまのまちづくり」

14:30～14:40　休憩

14:40～16:30　第2部　パネルディスカッション

　コーディネーター　豊田哲也（徳島大学 教授）
　パネリスト
　　長谷川晋理（NPO法人 新町川を守る会 理事）
　　岡部斗夢（NPO法人 アクア・チッタ 事務局長）
　　松山芳士（四国地方整備局 河川調査官）
　コメンテーター
　　矢部拓也（徳島大学 教授）
　　平 篤志（香川大学 教授）

16:40～17:10　日本都市学会賞授与式

17:10～17:40　日本都市学会総会

18:00～19:00　茶話会（参加費無料）

会　場　徳島大学　地域連携プラザ 1階　多目的室

例年の懇親会に代わるものとして、ソフトドリンクと簡単なフィンガーフードを提供します。

シンポジウム登壇者も参加予定。情報交換と交流の場としてお気軽にご参加ください。

10月25日（日）

9:20～12:10 研究発表Ⅱ

会　場　徳島大学　総合科学部1号館302講義室ほか

日本都市学会 第73回大会 研究発表プログラム

10月24日（土） 研究発表Ⅰ

＜第一会場＞水辺空間と都市再生（大会テーマ）／産業，戦略（9:20～11:50） 302講義室

（司会：松村 茂）

1101 地方公共団体におけるマーケティングの活用に関する考察－静岡県マーケティング戦略を事例として－
○坪井秀次（静岡大学），黒田伸太郎（大分大学）

1102 高岡における伝統的工芸品産業の産地構造と将来展望
河藤佳彦（専修大学）

1103 中小製造業の労働環境と生産性の向上に関する考察－岐阜県内企業のパイロットスタディー
○後藤誠一（岐阜大学），三井栄（岐阜大学）

1104 創造都市によるローカル・イノベーション－実現のプロセスについての解釈の試み－
渡部薫（まちづくり協会）

休憩（10:50再開）

（司会：根田克彦）

1105 持続可能な観光地経営におけるDMOと地域プラットフォーム－香川県小豆島を事例として－
五反地一弘（（株）JTB）

1106 接続社会における都市施設の考察
松村茂（東北芸術工科大学）

1107 市町村広域観光政策の課題
青木勝一（文教大学）

＜第二会場＞空間，施設（9:20～11:50） 303講義室

（司会：阿部亮吾）

1201 定期市としてのマルシェ・マーケットの機能と可能性
和田真理子（兵庫県立大学）

1202 導入後中長期経過したラウンドアバウトの歩行者譲られ率の経年変化及び影響要因分析－北九州市尾倉ロータリーを対象として－
○床鍋陽紀（九州工業大学大学院），寺町賢一（九州工業大学），濱岡建太朗（九州工業大学大学院）

1203 公共テニス施設の全面ハードコート化をめぐる争点構造と転換後の利用変化－ひなたTENNISPARKMIYAZAKIと久留米総合スポーツセンターを事例として－
横川知司（広島大学大学院）

1204 公共施設のネーミングライツにおける協働スキーム－東京都西東京市を事例に－
牛場智（静岡大学）

休憩（10:50再開）

（司会：井澤知旦）

1205　インクルーシブデザインの視点から見た公共空間の包摂性とまちの価値に関する研究－京都市内４か所のベンチ悉皆調査を通じて－
大島祥子（京都光華大学）

1206　「人々の空間利用をデザインする」ことをめぐる協働の可能性
○桐谷詩絵音（筑波大学），五十嵐泰正（筑波大学）

1207　ザルツブルク市空間開発構想の新展開－REK2026を中心として－
川田力（岡山大学）

＜第三会場＞災害，包摂（9:20～11:50）　304講義室

（司会：増田　聡）

1301　ノーマライゼーションにおける障害者教育の研究－市町村計画における通常学級－
増田金重（リサーチプランナーズ）

1302　2025関西万博－共同館Aにおける来場者と外国スタッフとの交流に見える都市間文化交流－
中原逸郎（楓錦会）

1303　熊被害と地域生活の最前線
麦倉哲（岩手大学）

1304　地方都市におけるバックボーン機能の把握に向けたBFIの方法論的検討－コレクティブ・インパクトの視点から－
千葉真哉（東北学院大学）

休憩（10:50再開）

（司会：麦倉　哲）

1305　コミュニティFM局向け災害情報収集発信アプリの社会実装に向けた課題
○鈴木正樹（沼津高専），佐藤希彦（沼津高専），松本行真（近畿大学）

1306　災害時の広域避難をめぐる受け入れ地域での中長期的な対応と課題－令和６年能登半島地震を中心事例として－
野坂真（青森公立大学）

1307　人流ビッグデータに基づく災害被災者の避難行動と生活・生産活動の分析－令和8年熊本地震を事例に－
○松嶋慶祐（北九州市立大学），三井栄（岐阜大学）

10月25日（日）　研究発表Ⅱ

＜第一会場＞住民，住宅（9:20～12:10）　302講義室

（司会：小山弘美）

2101　住民自治と市民的政策
檜槇貢（NPO法人田村明記念・まちづくり研究会）

2102　震災復興土地区画整理事業地区における住民意識の多層性－震災30年後の神戸市A地区住民調査より－
西野淑美（東洋大学）

2103　移住者の町域外活動と生活圏の変容からみた定住プロセス－北海道上士幌町への移住者のラ

イフヒストリーに着目してー
○石田海都季（大和ハウス工業株式会社），森傑（北海道大学），野村理恵（北海道大学大学院），坪内健（北海道大学大学院）
2104　日本人住民と外国人居住者の地域価値共創
大和里美（大阪経済大学）

休憩（10:50再開）

（司会：西野淑美）

2105　都市郊外地域の諸問題研究の整理とその包括的理解
千葉昭彦（東北学院大学）
2106　日本の都市圏における多次元・マルチスケール居住分化の構造：100都市圏の比較分析
上杉昌也（福岡工業大学）
2107　「市場か福祉か」から「市場も福祉も」へ？－グローバル都市における都市政策意識の比較－
○豊田哲也（徳島大学），上杉昌也（福岡工業大学），上村要司（株式会社 GeoLaboratory），桐村喬（立命館大学）
2108　スタジアム建設を基盤とした複合開発とジェントリフィケーション－北海道北広島市「Fビレッジ」を事例に－
大林幹雄（大阪公立大学　客員研究員）

＜第二会場＞地域（9:20～12:10）　303講義室

（司会：山崎　健）

2201　農村CEOをめぐる人材の入口と地域との継続的関与－杭州市蕭山区の事例から－
WANGLUHUA（弘前大学）
2202　条件不利地域のケーブルテレビDXが地域経済に与えるインパクト
井上あい子（ａｉ株式会社）
2203　サービス需給関係に着目した地域区分による地域包括ケアシステムの地域差－自治体アンケートの調査結果から－
○畠山輝雄（鳴門教育大学），佐藤洋（長崎大学），中村努（中京大学）
2204　地方小規模自治体の高校生における地域接触経験と卒業後の地域関与意向－出身地による接触機会の差異と関連構造：島根中央高校における横断調査－
大久保武（愛媛大学）

休憩（10:50再開）

（司会：久　隆浩）

2205　地方都市におけるエフェクチュエーションと地域性－創業初期の資源制約・社会関係資本・域外接続に関する理論的検討－
土屋有（宮崎大学）
2206　地域イメージ形成プロセスにおける「語り」に関する考察－大分県佐伯市のまちづくり実践者の事例分析－
○黒田伸太郎（大分大学），坪井秀次（静岡大学）
2207　創作的祭りを契機とした協働プラットフォーム形成プロセスの分析－千里ニュータウンの地域イベントを事例に－
野村仁志（大阪公立大学　客員研究員）
2208　スポーツを活用した地域経営の展開と課題－岡山県津山市の事例－

○田鹿紘（倉敷市立短期大学），平岡師玄哉（環太平洋大学），宇都宮浩司（環太平洋大学）

＜第三会場＞余暇，観光（9:20～12:10）　304講義室

（司会：磯部友彦）

2301　レジャー・余暇コンテンツとしての「将棋」に関するWell-Beingの効果
加藤健一（近畿大学大学院）

2302　WEBアンケート調査を用いた訪日中国人観光客の目的と評価に関する共分散構造分析
○WANG　SHIWEN（岐阜大学大学院），三井栄（岐阜大学），周涵（岐阜大学）

2303　能登半島地震によるインバウンド来訪者の影響について－人流データによる発災直後・観光戻り率の検証－
○森裕記（株式会社NTTドコモ），角岡泰紀（株式会社ドコモインサイトマーケティング），三井栄（岐阜大学），松嶋慶祐（北九州市立大学）

2304　仮想MaaSアプリの開発と利用効果実験
○稲葉健太（東海大学），梶田佳孝（東海大学）

休憩（10:50再開）

（司会：児玉浩嗣）

2305　食文化ツーリズムを活かした地域の内発的発展
村田和繁（大阪市立大学大学院）

2306　分散型宿泊施設による地域の再生と内発的発展への展開－福井県若狭町熊川宿を事例として－
池田千恵子（大阪公立大学）

2307　観光まちづくりにおけるアクターネットワークの形成と再編－岡山県矢掛町を事例として－
酒井新一郎（神戸海星女子学院大学）

2308　持続可能な地域づくりのための公学民連携のジオパーク運営組織の課題－日本ジオパークネットワークの46地域を対象として－
石川宏之（静岡大学）

大会参加登録

・研究発表をしない方も、研究発表やシンポジウム、エクスカーションに参加される方は、下記URLにアクセスし、必要事項を入力してお申し込みください。
・参加登録の締切は10月9日（金）です。

参加登録：
https://forms.cloud.microsoft/r/077ZqAV8ve

・参加費は10月9日（金）までに下記口座へ振込みをお願いします。手数料は各自ご負担ください。

納入方法（以下のいずれかの方法でお支払いください）

①銀行口座送金：銀行名　：ゆうちょ銀行
店　名　：一三九（イチサンキュウ）店
預金種目：当座
口座番号：００６９７１６
加入者名：中四国都市学会

②郵便振替　：口座番号　０１３００－４－６９７１６
加入者名　中四国都市学会

発表要旨集

・今年度大会では、発表要旨集の印刷や配布はおこないません。
・PDF版の発表要旨集は大会当日までに学会ホームページで公開しますので、各自でダウンロードしてご利用ください。

アクセス情報

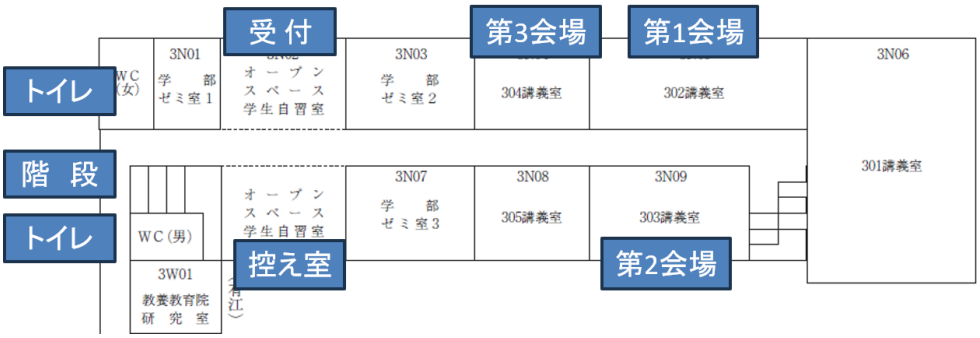
・徳島市へのアクセスは徳島県観光情報サイトをご参照ください。
https://www.awanavi.jp/access

・会場へのアクセスは徳島大学のサイトをご参照ください。
https://www.tokushima-u.ac.jp/access/shinkura_josanjima.html

会場案内

・総合科学部へは、国道11号に面した西門からがわかりやすくて便利です（車は入れません）。
・研究発表受付は、1号館玄関から入って向かって左、北棟の3階へお越し下さい。
・当日は、教職関係の講習会が同じフロアで開催されます。おまちがえのないようにお願いします。
・シンポジウムから参加される方は、地域連携プラザ2階に設ける受付へお越し下さい。
・会場で湯茶の提供はおこないません。控え室または構内の自動販売機をご利用ください。

総合科学部1号館北棟3階



宿泊案内

・徳島市内には宿泊施設が限られていますので、各自で早めの予約をお勧めします。
・参加登録時に、宿泊日と予約済みホテルが決まっていればお知らせ下さい。情報は徳島県観光協会のコンベンション助成の申請にのみ使用します。

昼食案内

・今年度大会では、昼食用弁当の手配について申込みや受け付けをおこないません。
・大学生協食堂および売店は、土曜日のみ営業しています（日曜日は休業）。
https://www.youtube.com/watch?v=uJ3mPFi1Vss
・会場周辺にはコンビニエンスストアやファミリーレストランをはじめ、飲食店が多数あります。
・シンポジウム会場内および研究発表に使用する講義室での食事はご遠慮ください。

観光案内

・徳島市を中心とする地域の観光情報は、イーストとくしま観光推進機構のサイトをご参照ください。
https://www.east-tokushima.jp/

・10月25日には、しんまちボードウォーク・阿波製紙水際公園で「とくしまマルシェ」が開催されています（9:00～14:00）。研究発表終了後、散策されてはいかがでしょうか。
https://tokushima-marche.jp

関連情報

・第30回水シンポジウム2026inとくしま　10月27～28日開催（土木学会水工学委員会ほか）
https://www.mizusympo2026.com/

・NPO法人アクア・チッタ
https://aquacitta.com/

・NPO法人 新町川を守る会
https://npo-shinmachiriver.jp/

・徳島市中心市街地活性課
https://www.city.tokushima.tokushima.jp/smph/shisei/shiyakusho/ka_ichiran/kikaku_seisaku/chushin_kasseika.html

・徳島県都市計画課
https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/soshiki/kendoseibibu/toshikeikakuka/

・国土交通省水管理・国土保全局　かわまちづくり
https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/

大会に関する問い合わせ先

中四国都市学会事務局
〒731-3195　広島市安佐南区大塚東1-1-1
広島修道大学商学部 川瀬研究室 気付
TEL：082-830-1210
E-mail：office@cs-su.jp
※件名を「徳島大会問い合わせ（ご氏名）」としてください。

大会実行委員会

実行委員長：豊田哲也（徳島大学）
ソフト部門：川瀬正樹（広島修道大学）、川田力（岡山大学）、北川博史（岡山大学）、藤塚吉浩（大阪公立大学）
ハード部門：池添純子（鳴門教育大学）、奥嶋政嗣（徳島大学）、畠山輝雄（鳴門教育大学）